

(社) 国際日本語普及協会の歩み

- 1970年 4月 (社)国際日本語普及協会の前身、日本語教育研究会西尾グループ設立。  
社会人のための日本語教育、教師養成、教材研究等の活動を開始。
- 1977年 2月 文部省の認可により社団法人国際日本語普及協会を設立。
- 1980年 2月 (財)アジア福祉教育財団難民事業本部大和定住促進センターにおけるインドシナ  
難民に対する日本語教育の担当を開始。1983年から国際救援センター、2006年  
からはRHQ支援センターにおいて条約難民に対するクラスを担当する。
- 1981年 7月 石川県、県民講座「日本語教師養成講座」を企画、実施。地域の国際交流団体の  
日本語教師養成講座への協力を開始。以後、全国におけるボランティア養成・研  
修講座へ拡大する。
- 1984年 4月 日本語入門教科書『Japanese for Busy People』を講談社インターナショナルより出  
版。以後、教材、副教材の開発が事業の一つの柱となる。
- 1990年 4月 『Japanese for Busy People I』の教え方講習会を開始。以後、インドシナ難民向  
け、技術研修生向け、年少者向けなどの各対象別教え方講座が毎年開催され  
る。
- 1991年 1月 『Reading Japanese Financial Newspapers-新聞の経済面を読む-』を講談社インタ  
ーナショナルより出版。
- 1991年 10月 外国人研修生対象の日本語入門教科書『じっせんにほんご -技術研修編-』を出  
版。
- 1992年 3月 (財)国際研修協力機構より外国人研修生に対する日本語教育を委嘱される。
- 1998年 3月 ビジネスマンのための実戦日本語教科書『Japanese for Professionals』を講談社イ  
ンターナショナルより出版。
- 1998年 8月 ヤングのための日本語教科書『Japanese for Young People』シリーズ を講談社イ  
ンターナショナルより出版開始。
- 1999年 10月 こどものための新しい漢字教材『かんじ だいすき』シリーズ(一)～(六)の出版を開  
始。
- 2001年 5月 地域の日本語支援者のための日本語教材素材データベース『リソース型生活日本  
語』をweb上で公開。
- 2001年 6月 文化庁委嘱事業ボランティア経験者に対する地域日本語支援コーディネータ等の  
研修を全国で開始。5年間で延べ115カ所で、3,176名が受講。また、全国の日本語  
支援関係者に対する相談業務を開始。
- 2004年 3月 多文化共生社会を考える「AJALTフォーラム」を東京、横浜にて開催。
- 2007年 5月 『実写映像で学ぶ日本の学校生活とことば ようこそ！さくら小学校へ～みんななか  
まだ～』を制作。